

# 3

## 株主価値を高めるために

2006年度から2008年度に至る3年間の中期経営計画「損保ジャパン再生プラン」を策定しました。「真に実効性あるコンプライアンス、リスク管理態勢の基盤強化と信頼回復」、およびこれらを前提とした「社会への貢献」ならびに「持続的な成長と収益力の向上」をめざしています。

損保ジャパンは、安定的、持続的に株主価値を向上させ、株主・投資家の皆さまのご期待にお応えすることが大切であるという認識のもと、まずは、事業継続の大前提となる基盤を再構築するとともに、社会のニーズに応える、持続的な成長に向けた戦略を実行してまいります。

常務執行役員 経営企画部長  
吉満 英一



# 説明責任を果たし、 企業価値をさらに高めていくために

## 新中期経営計画の展開

「損保ジャパン再生プラン」（修正版：新中期経営計画、2006年度～2008年度）では、「コーポレートガバナンス・リスク管理・コンプライアンスの実効性向上」と「風通しの良い企業風土となるしくみづくり」を事業展開の大前提として、「国内事業の成長を中心にグループ全体での収益向上」を掲げています。

## IR活動を強化

1999年にIR室を設置して以来、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを積極的に推進しています。年2回（中間決算・本決算）の会社説明会をはじめとして、国内外で年250回を超える各種ミーティングを実施しています。会社説明会では単なる決算数値の報告だけで終わることなく、会社経営に建設的なご意見をいただける貴重な双方向コミュニケーションの場として、経営トップが自ら経営戦略を説明しています。

## IR専用ホームページ

決算や財務状況、株価情報について、いち早く正確な情報をお伝えするために、IRホームページを開設しています。「個人投資家にはわかりやすく、機関投資家・アナリストには使いやすい」をコンセプトに運営しており、2006年4月には大和インベスター・リレーションズ（株）が発表する「インターネットIRサイトの優秀企業」に損害保険会社では唯一6年連続で選ばれました。

## 海外に向けたIR活動

株式市場において外国人投資家の存在感が増すなか、損保ジャパンの外国人持株比率は約40%に達しています。このため業界に先駆けて海外での積極的なIR活動を実践しており、2005年度は、欧米、アジアで計4回の海外IR活動を実施したほか、国内での外国人投資家とのミーティングを約50回開催し、コミュニケーションの強化に努めています。

## 新中期経営計画の骨子

- (1) コア領域は国内事業
- (2) 「第一線のインフラ」確立による第一線の生産性向上と時間創造
- (3) 主としてリテール分野における新たなビジネスモデルづくり
- (4) 海外収益事業による収益貢献
- (5) 生保事業・DC事業への注力、さらなる新規事業への投資

## 株主還元の方角性

2006年3月期の株主配当金は、前中期計画において「収益力の向上」と「事業基盤の確立」が実現できたことにより、前期より4円増配して1株につき13円としました。

今後とも株主還元は、配当を中心として実額の安定的な増加を図ります。その方向性を示す指標として「株主資本配当率（DOE: Dividend on Equity）\*」を掲げ、2005年度の1.1%から、中長期的には2%をめざします。DOEは、株主から付託されている資本に対する還元の比率を示す指標であり、「株主資本利益率（ROE: Return on Equity）×配当性向」に分解できます。損保ジャパンはその両方を向上させることで、株主価値の向上を図ります。\* DOE=配当総額/連結株主資本（平均残高）

## 株主の皆さまとのコミュニケーション

毎年6月と12月に当社の営業の概況、決算状況、経営戦略などについて記載した「事業報告書」をお送りし、ホームページにも掲載しています。2005年12月には「株主アンケート」を実施し、ご意見をもとにコミュニケーションの向上に努めています。また、毎年6月に開催する株主総会では、より多くの株主に損保ジャパンの事業活動を理解していただけるよう、配布資料の充実を図っています。さらに、2004年からインターネットを、2005年からは、携帯電話を通じた議決権行使も可能としました。さらに、機関投資家向けには、「議決権行使プラットフォーム」を採用するなど、株主の皆さまの利便性の向上も図っています。

## 内外のSRIファンド、SRIインデックスからの評価

近年、企業の財務面の評価だけでなく、環境・社会面も考慮して投資する社会的責任投資（SRI: Socially Responsible Investment）が世界規模で広がっています。損保ジャパンは、CSRへの取り組みが評価され、当社株式が、数多くの国内外のSRIファンドの組入銘柄または組入候補銘柄として選定されています。

損保ジャパンの株式が組入または組入候補銘柄となっている国内のSRIファンド一覧（期間:2005年7月～2006年7月・ファンド設定日順）

名称（ ）内は愛称	運用会社	設定日
日興エコファンド	日興アセットマネジメント	1999/ 8/20
エコ・ファンド	興銀第一ライフ・アセットマネジメント	1999/10/22
UBS日本株式エコ・ファンド（愛称:エコ博士）	UBSグローバル・アセット・マネジメント	1999/10/29
朝日ライフSRI社会貢献ファンド（愛称:あすのはね）	朝日ライフアセットマネジメント	2000/ 9/28
エコ・バランス（愛称:海と空）	三井住友アセットマネジメント	2000/10/31
日興グローバル・サステナビリティ・ファンドA（ヘッジなし 愛称:グローブ）	日興アセットマネジメント	2000/11/17
日興グローバル・サステナビリティ・ファンドB（ヘッジあり 愛称:グローブ）	日興アセットマネジメント	2000/11/17
UBSグローバル株式40	UBS・グローバル・アセット・マネジメント	2003/10/23
住信SRI・ジャパン・オープン（愛称:グッドカンパニー）	住信アセットマネジメント	2003/12/ 1
富国SRI（社会的責任投資）ファンド	しんぎんアセットマネジメント投信	2004/ 4/27
ダイワSRIファンド	大和証券投資信託委託	2004/ 5/20
野村グローバルSRI100	野村アセットマネジメント	2004/ 5/28
モーニングスター-SRIインデックス・オープン（愛称:つながり）	野村アセットマネジメント	2004/ 7/30
三菱SRIファンド（愛称:ファミリー・フレンドリー）	三菱UFJ投信	2004/12/ 3
CA82リスク限定型ファンド2005-4（愛称:ヴェルデ）	クレディ・アグリコ・アセットマネジメント	2005/ 4/28
ダイワ・エコ・ファンド	大和証券投資信託委託	2006/ 3/ 9

2005年4月～2006年7月に一時的に組入候補となった銘柄も記載しています

また、2000年から7年連続で組み入れられているDow Jones Sustainability Indexes（スイス）のほか、FTSE4Good Index Series（英国）、Ethibel Sustainability Indexes（ベルギー）、モーニングスター社会的責任投資株価指数（日本）などの内外のSRIインデックスにも組み入れられています。

